

10.九州（地域別調査機関：（財）九州経済調査協会）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連	良くなる やや良くなる	一般小売店〔茶〕（販売・事務） 百貨店（営業担当）	・新茶の発売前に在庫処分セールをするので多少売上がつながり、良くなる。 ・春物商品について店内でアンケートを実施しているが、スプリングコートの需要欲求がかなり出ている。独自の調査であるが、商品が春物へ変わってくると少しではあるが、動きは良くなる。
		スーパー（店長）	・品ぞろえが悪い小型店舗は厳しいが、通常型の店舗は前年に比べて数字が改善している。カキは風評被害により、動きが悪かったが、その反動で刺身の盛り合わせが好調である。一方、鶏肉は風評被害による売上の落ち込みはなく、全体的にはこのまま順調に推移する。
		スーパー（店長）	・食品関係は販売量だけでなく客単価も上昇傾向にある。衣料品のアウトウェア、特に婦人関係の雑貨、アクセサリーの動きが非常に良いので、今後はかなり伸びる。
		コンビニ（エリア担当）	・今年は暖冬であったため、例年より早めに暖かくなることが予想される。ドリンク等の売上が上がり、来客数も増える。
		コンビニ（販売促進担当）	・売上の的には右肩上がり、来月から春の感謝キャンペーンも始まるので、このまま良い状態で推移する。
		乗用車販売店（従業員）	・決算時期に入ることから来客数が増し、今年は例年以上に活気づく。
		乗用車販売店（管理担当）	・原油、ガソリンの価格が少し下がったことにより、客に安心感が出ている。また金利も引上げが先送りされたので、動きが前年よりは良くなる。ただ車の台替が以前は7、8年ごとであったが、昨今は10年を超えるという状況になっている。
		その他専門店〔コーヒー豆〕（経営者）	・春先は気温も高くなるため、今年は例年より早い時期から来客数が増えてくる。
		高級レストラン（経営者）	・歓送迎会が少し期待されるので、多少良くなる。
		スナック（経営者）	・新規の客が少しずつ増えており、今後は良くなる。
		通信会社（業務担当）	・春先にかけてワンセグ搭載等の新商品が出そろう、卒業シーズンでもあるため、来客数、販売数共に上昇する。
		テーマパーク（職員）	・プロ野球球団やJリーグのキャンプで、週末は宿泊もゴルフもほぼ満室である。春休みからゴールデンウィークに向けての仕掛けも準備できており、予約状況も良くなる。
		ゴルフ場（従業員）	・客単価が700円から800円程上がっており、客の消費意欲は少しずつ出ている。今後もこの傾向は続く。
		変わらない	変わらない
百貨店（売場主任）	・婦人服ではこの春、若い世代の新しいファッショントレンドがある。しかし、売上の主力になる年齢の高い世代のトレンドは、はっきりした物が見えない。		
百貨店（営業担当）	・自分の趣味し好にあった商材は多少高額でも購入するが、バーゲンで安価な商品でも不必要な商品には手を出さない傾向が継続している。その中で子供雑貨、ギフト、日用陶磁器はヒット商品もあり、前年実績を確保した。客の声から要望商品を早期発掘し、品ぞろえを充実させることの重要性を痛感している。		
百貨店（販売促進担当）	・福岡地区では3月末まで百貨店の改装や閉館セールが立て続けに行われ、周辺大型ショッピングセンターを含めた客の争奪戦が予想される。短期的にマーケットが大きく動く可能性が強く、売上予測が立てにくい。		
百貨店（売場担当）	・ここ半年ずっと売上が前年比95%程度で推移しているが、今後2、3か月もこれといったプラス要因はない。		
百貨店（売場担当）	・来客数、売上の推移は前年比98%程度で推移しており、今後も変わりはない。他店状況としても、6年前に出店した店は毎年伸びていたが、伸びが止まっている。市内の百貨店は勝ち組、負け組がはっきりしており、売上については同じ市場の奪い合いが顕著になっており、今後もこの状況が続く。		

		スーパー（店長）	・鳥インフルエンザの発生により、鶏の売上が厳しい状況である。他の部門の商品もなかなか売れず、今後も厳しい状況が続く。
		スーパー（店長）	・競合店が出店しており、それ以外の店もそれに対抗するために安売りをし、競争が激化する。
		スーパー（企画担当）	・大型商業施設等の競合店の影響は引き続き大きく、来客数、客単価の回復はかなり難しく、苦戦を強いられる。
		スーパー（経理担当）	・競合他社の動きが激しく、商品単価・客単価は落ちる一方である。
		衣料品専門店（店員）	・新入学用品などの必要な商品は好調に売れているが、その他の商品の売行きが鈍く、この傾向は今後も続く。
		乗用車販売店（従業員）	・大型トラックの販売台数が伸びず、今後もこの状況が続く。
		乗用車販売店（販売担当）	・当社が扱っている高額商品について客は、購買に慎重な姿勢が続いており、この傾向は当面続く。
		その他専門店〔ガソリンスタンド〕（統括）	・燃料油の小売価格が下がっており、2、3月の一段の冷え込みにより、昨年並みの出荷量が期待できる。
		高級レストラン（経営者）	・予約状況を見ると、昨年と変わらない売上は確保できる。
		都市型ホテル（副支配人）	・予約状況を見ても傾向は変わらない。販売量が落ちた場合は単価を少し下げると販売量が元に戻るパターンは大きく変わっておらず、今後もこの状況が続く。
		観光名所（職員）	・団塊世代が定年になるので、ゴルフ場については60歳以上のシニア、観光施設については夫婦での小旅行等が今後増える。
		ゴルフ場（スタッフ）	・昨年同様のコンペの受注はあるが、新規の予約は無い。
		設計事務所（所長）	・年度末を迎えても官公庁の発注がなく、民間も現状維持又は若干悪くなる。
	やや悪くなる	百貨店（営業担当）	・昨年9月の当社の増床オープンで、土、日、祭日の周辺商店街の客の流入はかなり回復基調にあるが、周辺商店街の各個店の売上は苦戦している。空き店舗も増え、この商店街の疲弊は今後ますます進む。
		百貨店（販売促進担当）	・近隣ショッピングセンターの影響を受け、大幅に来客数を落としている。今後もマイナス傾向が続く。
		住関連専門店（経営者）	・昨年12月に大型ショッピングセンター内に全国チェーンの安価輸入品を中心とした店が開店し、メーカー展示場でのメーカー直販の売出しが増えた。既存の家具店の販売はますます厳しくなる。
		観光型ホテル（スタッフ）	・2、3月の宴会の問い合わせが少なく、前年を割りそうである。宿泊に関しては2月中旬から3月にかけて長崎ランタンフェスティバルがあり、増加が期待できる。
		観光型ホテル（営業担当）	・宿泊は動きの悪い時期であり、予約状況も動きがなく例年以上に厳しい。
		都市型ホテル（総支配人）	・出張者の宿泊に勢いが無いのに、新規にホテルが開業するため厳しい状況が続く。
		タクシー運転手	・一般客のみならず、病院通いのお年寄りも財布のひもがかなり固くなっており、昼も夜も動きが鈍い。今後もこの状況が続く。
	悪くなる	家電量販店（店員）	・移動シーズンであるため客は多いが、1つの店でそろえるということはなく、安いものを安い店で購入するという分散型購入に変化しており、量、単価共に落ち込んでいる。今後もこの傾向は続く。
企業 動向 関連	良くなる	-	-
	やや良くなる	窯業・土石製品製造業（経営者）	・今まで納入先は百貨店、量販店、専門のギフト関係だったが、雑貨店にも商品が大分入るようになり、流通が広がった。この先幾らか希望が持てる。
		その他サービス業〔物品リース〕（役員）	・景気回復が浸透し始めており、リース需要も現状の上向き基調にて推移する。
	変わらない	鉄鋼業（経営者）	・民間建築需要が堅調であり、自動車関連・IT関連・物流センター・共同住宅など今後も新規物件が続く。ただ、鉄鋼メーカーにとっては主原料である鉄くず価格や副資材の価格が高止まりするなどコストアップの要因を抱え、採算が悪化する可能性もある。
		電気機械器具製造業（経営者）	・人手不足により賃金が高騰し、加えて原材料の安定供給が難しくなってくる。今後も厳しい状況は続く。

		電気機械器具製造業（経営者）	・電子部品関連の金型関連並びに精密機械関連の状況は、すでに3月の受注が入っており、今後も好況を維持する。
		金融業（得意先担当）	・年度末にかけてある程度の受注の増加は見込めるが、今後金利の上昇も懸念され、現状維持となる。
		広告代理店（従業員）	・売上の低迷が今後も続く。
	やや悪くなる	農林水産業（経営者）	・今回の鳥インフルエンザの発生状況からすると、最低でも半年くらいは風評被害等の影響が出る。現在2度目の発生が確認されているが、もし他に伝播することがあれば、南九州のチキンに対する消費者の不安がつのり、厳しい状況となる。
		食料品製造業（経営者）	・観光客の減少は著しく、それに伴い出荷数量及び金額が減少傾向にある。当面観光の目玉がなく、業界では新幹線の全線開通まで待つしかないという悲観的な見方が多く、悪くなる。
		建設業（従業員）	・見積案件は少々増えてきているが、競合相手が多すぎてなかなか受注に結び付かない。官庁は予算が年々削減されてあまり期待できない。
		輸送業（総務担当）	・衣料品、食料品、化学工業品、日用雑貨の荷動きは、どれもあまり良くなく、しばらくは悪くなる。
		広告代理店（従業員）	・北九州を拠点に出店攻勢が目覚ましかったスーパーが倒産した。そのため1月の受注量は前年を下回り、今後もチラシの発注が減少する。
	悪くなる	-	-
雇用 関連	良くなる	民間職業紹介機関（職員）	・前年の同時期に比べ、求人数が大幅に上昇した。固定の業界、年齢層だけではなく、中堅から若手まで職種も管理者クラスまで幅広く需要がある。人材不足が慢性化しており、景気は良くなっている。
		民間職業紹介機関（支店長）	・企業の採用意欲がおう盛である。臨時的期間限定業務に加え、正社員採用を前提としたオーダーが活発である。
	やや良くなる	人材派遣会社（社員）	・企業は、女性の営業職等を積極的に紹介予定派遣で採用している。今後も継続していく。
		職業安定所（職員）	・いよいよ団塊世代の退職が始まるが、各企業で定年延長等の措置が取られており、新規求人に大きな変動はないものと考えられるが、中小、零細企業等からの活発な求人が予想される。
	変わらない	人材派遣会社（社員）	・2～3月は、繁忙期にならなければいけない時期だが、今のところ予兆が見えない。
		職業安定所（職員）	・新規進出企業による大量求人の期待感はあるが、逆に大量解雇を計画しているところもある。
		学校〔大学〕（就職担当者）	・時期的な関係から求人活動は本格化するが、人材の採用意欲として、現行の高い水準が更に高まる新たな材料は見出せない。
	やや悪くなる	求人情報誌製作会社（編集者）	・派遣会社、アウトソーシング業でのフリーター採用が難しくなっている。競争力や特長が見出せない地元の派遣、アウトソーシング業はこれから一段と厳しくなる。
	悪くなる	-	-